

HOW TO MAINTENANCE

無垢フローリング・木質製品
補修方法

無垢フローリングをはじめとした木質製品の補修・メンテナンス方法をパターンごとにご紹介いたします。

◆木質製品におけるオイル塗装の特徴

木質製品（特にフローリング）において、“オイル塗装”であるということは見方によってはメリットでもあり、デメリットでもあります。オイル塗装はウレタン塗装と異なり、表面に塗膜を作りません。そのため、傷がつきやすいのも事実ですが、塗膜が無いからこそ手軽にメンテナンスを行えるというメリットがあります。（一般的にウレタンの場合は大掛かりなサンディング工事が必要になります）本冊子でご紹介する方法で補修・メンテナンスしていただくことにより、木質製品ならではの“味のある風合い”を育てることができます。また、ご紹介する方法ですべての傷やシミ等を完全に消せるわけではありません。生活に支障のない程度に補修ができる方法となります。

◆タッチアップ用塗料の扱い方

<使用中の注意>

蓋がしっかりと閉まった状態で、良く振って中身を攪拌させてください。顔料が底に溜まっている場合がございます。取り扱うときには必ずゴム手袋またはビニール手袋をつけて扱ってください。手に付着してしまった場合は、市販の除光液でふき取ることが出来ます。布についてしまった場合は乾燥する前に石鹸で洗って下さい。放置してしまうと落ちなくなってしまうのでご注意ください。布についた塗料は除光液で落とすのは色落ちの原因となるのでおやめください。また、オイル塗料には揮発性の物質が含まれていますので、作業中は室内の換気を行ってください。作業中、気分が悪くなった場合はすぐに使用を中止してください。また、火気の近くでは使用しないでください。

<使用後の注意>

使用後は必ず、塗料の付いたウエスを水で湿らせた状態で捨ててください。そのままの状態ですてると自然発火する恐れがあります。可能であればビニール袋などに入れ、水をかけてから口を閉じた状態で捨てることをお勧めします。※ごみの分別は各自治体の分別に従ってください。

◆メンテナンス用パテの選び方

本冊子では「ハウスボックス イージーリペアキット」を使用しておりますが、別のメンテナンス用パテをお使い頂いても同じような手順で補修することは可能です。

<使用に向けたパテの特徴>

- ・木製〇〇向け、木部用の記載がある
- ・木くずを混ぜたタイプのパテ（通称：木パテ、木工パテ）

<使用に向いていないパテの特徴>

- ・浴室やタイル用、充てん、金属用など木製品以外への使用が目的に記載されている
- ・シリコン系と記載されている

上記は特徴の一例です。詳しくは各製品の販売・製作元へお問合せください。また、商品に記載されている使用方法・使用上の注意は必ずお読みください。これらの商品を使用したことによる瑕疵の責任を弊社では負いません。予めご了承下さい。

◆サンドペーパーの使い方

木材を研磨するときは必ず木目に沿って（水平方向）ペーパーを動かしてください。木目に対して間違った方向（垂直方向）で研磨すると、削り跡が目立ち、仕上がりが悪くなってしまいます。



○ 正しい研磨方向
（水平方向）

✕ 間違った研磨方向
（垂直方向）

打痕 (だこん) 傷

用意するもの

- ・サンドペーパー #80 ~ #100、#140、#180
- ・ウエス
- ・布巾または汚れていない雑巾
- ・アイロン
- ・タッチアップ塗料
- ・ビニール手袋またはゴム手袋

アイロンで熱を加えるため、綿 100% の素材をお勧めします。



①



補修箇所のゴミを取り除き、かたく絞った布巾を補修箇所に乗せる

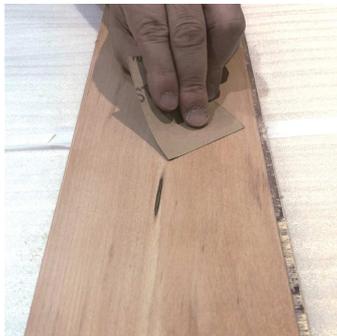
②



予熱しておいたアイロンを布巾の上から当てる
温度は低から始め、様子を見て調整する

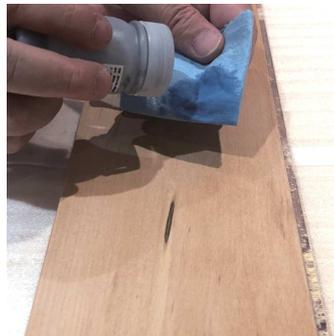
※布巾が乾燥していると効果がありませんので、必ず水分が含まれた状態を確認してください

③



布巾を外して見て、凹みが戻っていたらそのまま乾燥するのを待つ
凹みが残っている場合は、#80 ~ #100で研磨し、乾燥させる

④



木くずを取り除き、タッチアップ塗料をウエスを使用して塗る
◇クリアオイル塗装の場合のみ、Bona オイルリフレッシャーで代用可

1分ほど浸透させたら、必ずきれいなウエスを使用して、手につかなくなるまで拭きあげる

⑤



乾燥後、#400 のペーパーを使用し、表面のザラツキを軽く研磨する

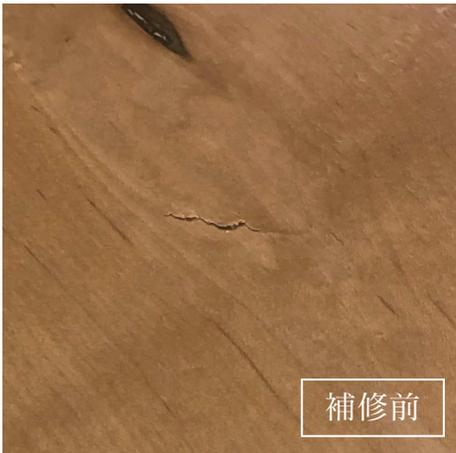
※強く押し当てたり、何度も研磨すると塗料が落ちるので注意してください

※研磨するときはペーパーを必ず木目に沿って動かして下さい



用意するもの

- ・サンドペーパー #80～#100、#180～#240、#400
- ・ウエス(布巾または汚れていない雑巾)
- ・マスキングテープ
- ・タッチアップ塗料
- ・ビニール手袋またはゴム手袋



①



補修箇所にマスキングテープを貼る
最初に #80～100 のペーパーで研磨し、
次に #180～240 に変えて研磨する

※研磨するときはペーパーを
必ず木目に沿って動かして下さい

②



掃除機などで木くずを取り除く
この時に傷がまだ目立つようであれば、
手順②の研磨を #80～100 から繰り返す

③



マスキングテープを剥がし、タッチアップ塗料をウエスを使用して塗る

◇クリアオイル塗装の場合のみ、
Bona オイルリフレッシャーで代用可

④



1分ほど浸透させたら、
必ずきれいなウエスを使用して、手につかなくなるまで拭きあげる

⑤



乾燥後、#400 のペーパーを使用し、
表面のザラツキを軽く研磨する

※強く研磨すると塗料が落ちるので注意
※研磨するときはペーパーを
必ず木目に沿って動かして下さい



用意するもの

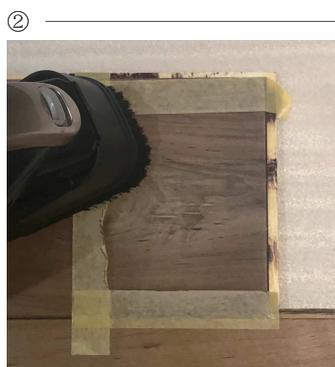
- ・サンドペーパー #80～#100、#180～#240、#400
- ・ウエス(布巾または汚れていない雑巾)
- ・マスキングテープ
- ・タッチアップ塗料
- ・ビニール手袋またはゴム手袋

※汚れやシミが水分によってできたものだと、内部へ水分が浸透してしまっていて、あまり効果が無い場合もございますので予めご了承ください。

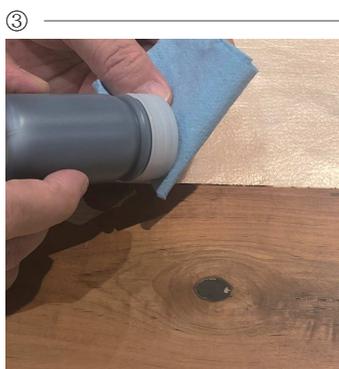


補修箇所にマスキングテープを貼る
#180～240のペーパーで研磨する

※研磨するときはペーパーを
必ず木目に沿って動かして下さい



掃除機などで木くずを取り除く

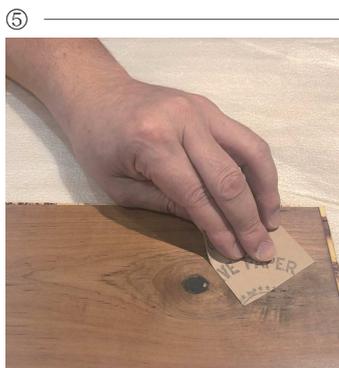


マスキングテープを剥がし、タッチアップ塗料をウエスを使用して塗る

◇クリアオイル塗装の場合のみ、
Bona オイルリフレッシュで代用可



1分ほど浸透させたら、
必ずきれいなウエスを使用して、手につかなくなるまで拭きあげる



乾燥後、#400のペーパーを使用し、
表面のザラツキを軽く研磨する

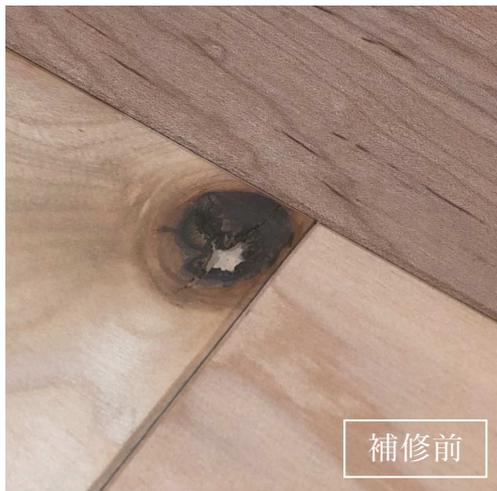
※強く研磨すると塗料が落ちるので注意
※研磨するときはペーパーを
必ず木目に沿って動かして下さい



節やパテが抜けた、欠けてしまった場合

用意するもの

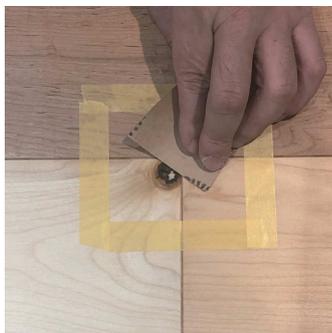
- ・サンドペーパー #80～#100、#140、#180
- ・ウエス（布巾または汚れていない雑巾）
- ・イーजीリペアキット（電池別売）
- ・単3乾電池×2本
- ・タッチアップ塗料
- ・ビニール手袋またはゴム手袋



① 補修箇所にマスキングテープを貼る



② 補修箇所をサンドペーパーで研磨する



- ◇パテ抜け・節抜けの場合
…#80～#100の後に#180～240
- ◇パテ欠け・節欠けの場合
…#180～#240のみ

※研磨するときはペーパーを必ず木目に沿って動かして下さい

③ 掃除機などで木くずを取り除く

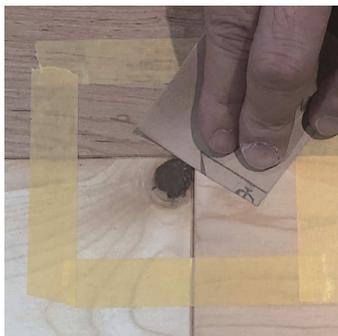


④ イーजीリペアキットを使用し、パテを補修箇所の穴に詰める



◇もともとのパテに近い色を選ぶと、自然な仕上がりになります

⑤ 1～2分ほどで放置し、粗熱を取る



表面の凹凸を#180～#240で研磨する
※強く研磨すると、詰めただけのパテが取れてしまう場合があるので、軽く研磨してください

⑥ ごみを取り除き、タッチアップ塗料をウエスを使用して塗る



◇クリアオイル塗装の場合のみ、Bona オイルリフレッシャーで代用可

⑦



1分ほど浸透させたら、
必ずきれいなウエスを使用して、手につ
かなくなるまで拭きあげる

⑧



乾燥後、#400のペーパーを使用し、
表面のザラツキを軽く研磨する

※強く研磨すると塗料が落ちるので注意
※研磨するときはペーパーを
必ず木目に沿って動かして下さい



補修後

